

真のリーダーシップは、必ず、 人々に対する共感を、原点としている。

それが職場であるならば、部下に対する共感。それが国家であるならば、国民に対する共感。
それが企業であるならば、社員に対する共感。その共感なしに、いかなるリーダーシップも存在しない。

西水美恵子著「国をつくるという仕事」解説に代えて by 田坂広志・より



西水美恵子氏(左)、雷龍王4世(中央)、夫のピーター・ウィッカム氏(右)

世界で一番学ぶことが大きかった国、^{ブータン}雷龍。企業の運命は指導者に大きく左右されるが、それは国家も同じこと。世界銀行での「悟り」はそこに尽きた。指導者の資質が国のガバナンス(統治管理)のよしあしを決め、良いガバナンスは貧困解消を促進する。一世代で貧しさを断ち切ることも、決して夢ではない。人を引きつけるビジョンと情熱。右ならえをせぬ勇気。人の上に立つは下に居ること知る謙遜。異なる視点や反対意見を重んじる寛容。信念鉄の如く、ほれほれするほどつながる頭とハートと行動。まことの力は、自ら権力を放棄してこそ授かるものと熟知する人徳。まとめてカリスマ、重量感。そんな指導者などこの世にいないと思っていた。ところがいたのだ。ブータンに。それも一人や二人どころではなかった。



私たちの国づくりへ・^{ブータン}雷龍の国から学ぶ

前世界銀行副総裁 西水美恵子講演会

■日時：平成22年11月10日(水) PM2時～PM5時(受付：PM1時30分～)

■会場：長岡リリックホール・コンサートホール ■聴講料：2,000円(チケット制)

主催：長岡商工会議所青年部・(社)長岡青年会議所・(社)長岡法人会青年部・長岡GNH研究会

共催：長岡市・(財)長岡市国際交流協会・NPO日本再生プログラム推進フォーラム

■後援：新潟県、JICA独立行政法人国際協力機構、(社)新潟県商工会議所連合会、新潟経済同友会、新潟県社会経済生産性本部、新潟県経営品質協議会、長岡商工会議所、新潟日报社、日本経済新聞社、長岡支局、朝日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、毎日新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、日刊工業新聞新潟支局、長岡新聞社、生活情報新聞社、越後タイムズ、BSN新潟放送、NST、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、ケーブルテレビのエヌ・シー・ティ、FMながおか80.7、(財)新潟県国際交流協会、(財)新潟県女性財団、新潟県青年海外協力協会、にいがた青年海外協力隊を育てる会、長岡日本外交協会、ネパール・ムスタン地域開発協会長岡支部、長岡技術科学大学、長岡造形大学、長岡大学、長岡工業高等専門学校、長岡市教育委員会、長岡市文化議員連盟、(財)米百俵財団、(協)新潟県異業種交流センター、連合中越協議会、長岡ロータリークラブ、長岡東ロータリークラブ、栃尾ロータリークラブ、長岡西ロータリークラブ、長岡ライオンズクラブ、長岡悠久ライオンズクラブ、長岡畜産ライオンズクラブ、長岡柏ライオンズクラブ、長岡長生ライオンズクラブ、国際ソロボチミスト・長岡、国際ソロボチミスト・長岡-みづは、長岡ベンチャークラブ、長岡市倫理法人会、長岡南倫理法人会、長岡西倫理法人会、にいがた22の会、越後長岡藤原塾、NPO復興支援ネットワーク・フェニックス、未来を語るピーナスネット ■企画・運営協力：N-Brains、オフィスエラン

<キリトリ線>

交流懇親会申込書 FAX.0258-37-1923 〒940-0066 長岡市東坂之上町2-4-4 オフィスエラン tel.090-6948-8309

ふりがな お名前				年齢	歳	性別	男・女
お電話	FAX		E-mail				
ご住所							

※個人情報については、個人情報保護方針に基づき、充分に留意して取り扱います。

〈講演内容〉

1. 鬼澤 慎人 (おにざわ まさと)

「リーダーシップ研修の現場から」全国各地で数々のリーダーシップ研修を行ってきた現場報告。

2. 西水 美恵子 (にしみず みえこ)

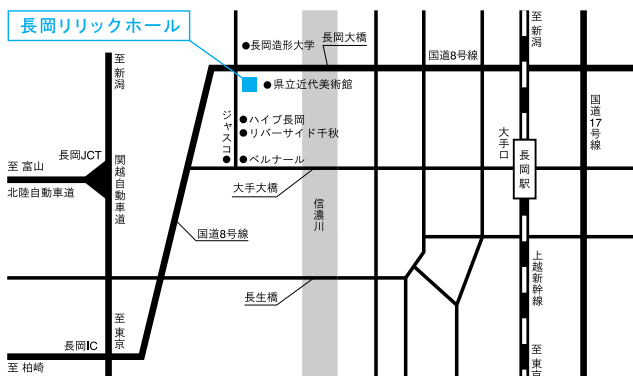
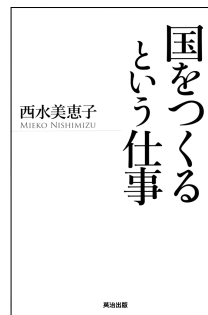
「私たちの国づくりへ・雷龍の国から学ぶ」世界のリーダーの言動と長岡がつながっている現実を確認します。

3. 対談・鬼澤慎人と西水美恵子

「リーダーの必要条件とリーダーの中のリーダー」誰でもがリーダーでなければならない現代日本のリーダー革命。



西水美恵子：大阪府豊中市生まれ、北海道美幌市で育つ。中学校3年から上京。東京都立西高校在学中、姉妹都市高校生親善大使としてニューヨーク訪問。その後間もなくロータリークラブ交換留学生として最渡米。(後年、西高は中退)そのまま帰国せず、ガルチャー大学へ入学。経済学を学ぶ。1970年卒業後、トーマス・J・ワトソン財団フェローとして帰国。千代田化工建設の特許課に借席し、環境汚染問題の研究。1971年、再度渡米する。1975年、ジョンズ・ホプキンス大学大学院、博士課程(経済学)を卒業。同年、プリンストン大学経済学部、兼ウッドロー・ウィルソン・スクールの助教授に就任。1980年、世界銀行入行、開発政策局・経済開発研究所。1983年、産業・エネルギー局 産業戦略・政策課(エジプト・タイ・ハンガリー・中国などを担当)。1987年、欧州・中東・北アフリカ地域 アフガニスタン・パキスタン・トルコ局 リード・エコノミスト。1988年、欧州・中東・北アフリカ地域 アフガニスタン・パキスタン・トルコ局 通商・産業・金融課 課長。1992年、国際復興開発銀行 リスク管理・金融政策局 局長。1995年、南アジア地域 アフガニスタン・バングラデシュ・パキスタン・スリランカ局 局長。1997年、南アジア地域 副総裁。2003年、世界銀行退職。現在、米国首都ワシントンと英国領バージン諸島に在留。世界を舞台に、執筆や、講演、様々なアドバイザー活動を続ける。2007年より、シンクタンク・ソフィアバンクのパートナー。著書に「国をつくるという仕事」(英治出版、2009年)がある。



長岡リリックホール
〒940-2108 新潟県長岡市千秋3-1356-6
tel.0258-29-7711

〈交通のご案内〉

- ◎JR長岡駅・大手口より
 - ・8番線から中央循環バスで(内回り/近代美術館、外回り/ハイブ長岡)バス停下車、徒歩3分。
 - ・7番線から近代美術館行きバスで、終点下車、徒歩3分。
 - ・7番線から江陽団地行きバスで、造形大学前バス停下車、徒歩7分。
 - ・7番線から江陽団地行きバスで、ハイブ長岡バス停下車、徒歩3分。
 - ・2番線から出雲崎行きバスで、近代美術館前バス停下車、徒歩3分。
- ◎長岡インターチェンジより車で約10分。

交流懇親会

- 会場：ホテルニューオータニ長岡
〒940-0048 長岡市台町2-8-35 / tel.0258-37-1111
- 時間：PM6時～PM8時(受付：PM5時30分～)
- 会費：5,000円 ※交流懇親会申込書は表面にあります。

〈交通のご案内〉

- ◎JR長岡駅東口出口、徒歩約1分。
- ◎長岡インターチェンジより車で国道8号線約8km約15分。

〈会場案内〉

